

ISO マネジメントシステムの運用に関する研究

2009 年 12 月

長崎大学大学院生産科学研究科

後藤 大太郎

目 次

第 1 章 序論

1-1 論文の背景と目的	1
1-2 論文構成	2
1-3 本論文の学術的意義と社会的意義	3

第 2 章 マネジメントシステム

2-1 マネジメントシステムの概要	5
2-1-1 マネジメントシステムとは	5
2-1-2 マネジメントシステム規格	6
2-1-3 マネジメントシステムのプロセス	7
2-1-4 ISO 設立の経緯	8
2-2 ISO9001 及び ISO14001 の認定・認証制度について	9
2-2-1 ISO 取得の意義	9
2-2-2 ISO 取得の流れ	10
2-2-3 審査登録機関について	12
2-2-4 審査員制度	18
2-2-5 コンサルタントの定義と制度	22
2-3 ISO9001 について	25
2-3-1 ISO9001 の背景	25
2-3-2 ISO9001 の取得状況と規格要求事項	26
2-3-3 ISO9001 の効果と課題	28
2-4 ISO14001 について	31
2-4-1 ISO14001 の背景	31
2-4-2 ISO14001 の取得状況と規格要求事項	32
2-4-3 ISO14001 の効果と課題	35
2-5 マネジメントシステムの効果と課題の整理	36

第3章 ISO マネジメントシステムの運用に関する調査

3-1	調査の概要	38
3-2	組織の運用とコンサルタントの指導方法に関する調査概要	38
3-2-1	組織の運用とコンサルタントの指導方法に関する調査	39
3-2-2	実態調査結果	40
3-2-3	マネジメント導入組織に対するヒアリング調査結果のまとめ	46
3-3	コンサルタントのマネジメントシステム認識と 指導方法に関する調査	47
3-3-1	コンサルタントのマネジメントシステム認識と 指導方法に関する調査方法	48
3-3-2	コンサルタントのマネジメントシステム認識と 指導方法に関する調査結果	48
3-3-3	コンサルタントのマネジメントシステム認識と 指導方法に関する調査結果のまとめ	50
3-4	組織の運用とコンサルタントのマネジメントシステム認識の 関連性についてのまとめ	51

第4章 組織の作成記録数と ISO 規格の要求する記録数に関する比較調査

4-1	調査の概要	53
4-2	ISO14001 運用における組織の記録数の調査	53
4-2-1	調査方法	53
4-2-2	実態調査結果	53
4-2-3	問題点の整理と提案	56
4-2-4	規格要求事項と記録内容分析	57
4-3	ISO9001 の記録	59
4-3-1	調査方法	59
4-3-2	実態調査結果	60
4-3-3	問題点の整理と提案	63
4-3-4	規格要求事項と記録内容分析	64
4-4	考察	65

第5章 多様化するマネジメントシステム	
5-1 ローカルスタンダードについて	67
5-2 KES、LAS-E の概要	67
5-3 ISO14001、KES、LAS-E の概要の比較	68
5-4 ISO14001、KES、LAS-E のシステムの比較	71
5-5 ローカルマネジメントシステムの問題点	73
5-5-1 ISO14001 の問題点	74
5-5-2 KES の問題点	75
5-5-3 LAS-E の問題点	75
5-6 ローカルマネジメントシステムの提案とまとめ	77
第6章 摘要	79
注釈	86
参考文献	87
参考ホームページ	91
参考資料 1	93
参考資料 2	112
参考資料 3	121
参考資料 4	127
謝辞	129